



憲法9条改憲を許さず、みんなのいのちを守る大運動と共同組織拡大強化月間を大きく展開しよう！

組織社保部長
大久保 猛

私たちの周りには、生活が大変で十分な食事がとれていなかったり、高すぎる保険料や窓口負担が払えず困られたり、受診回数や介護保険の利用枠を減らすなど、いのちが脅かされる事態が進行しています。

全日本民医連の経済的事由による手遅れ死亡事例調査では、毎年50人以上が亡くなられ、昨年度は58人が亡くなられていました。これは民医連内の調査であり氷山の一角です。

こんな中で、安倍政権は、社会保障を解体して戦争ができる国づくりに突き進んでいます。今年度予算では、社会保障の自然増分が1千4百億円削減され、この5年間で3兆4千5百億円の削減となつていきます。防衛費は年々増額され前年度に続いて5兆円を突破しました。そしていよいよ憲法9条改憲を正面に国会審議にかけ、2020年には新憲法の施行を目指しています。社会保障の充実と戦争政策は相いれませぬ。「安倍9条改憲NO！ 憲法を生かす統一署名」を軸に、戦争につながる憲法9条改憲を絶対許さない大運動を展開しましょう。

あわせて、京都府全域で11月末までに20万筆を目標に「みんなのいのちを守る署名」が取り組まれています。署名の要請項目は、①京都府のどこでも医療・福祉が安心して受けられる施策を拡充してください。②患者・利用者や家族の負担をこれ以上増やさず、負担軽減策を充実してください、の2点です。京都保健会では3万筆を目標に署名活動を展開し、来年の京都府知事選挙で、国の悪政に追隨するのではなく、府民のいのちと暮らしを守る京都府政を実現するために地域での取り組みをさらに広げていきたいと思います。

今、共同組織はとても元気です。会員相互のつながりを深めながら、定期的に会報を出し、趣味や特技を生かしたサークル活動、健康をテ-

マに医療懇談会や健康相談、友の会健診など活発な活動を展開しています。最近では、行政や他団体とのつながりを生かした子ども食堂や無料塾は好評で、サロン・カフェなど居場所づくりも進んでいます。また、夏の猛暑の中でも続けられた高齢者の会員宅訪問は、まさにいのちにつながる取り組みでした。こうした活動をもっと発展させ、安心して暮らせるまちづくりをすすめるために共同組織を強く大きくすることが大切です。そのために、力を集中して取り組むのが10月～11月の共同組織拡大強化月間です。民医連とともに歩む共同組織を、すべての職員と健康友の会会員が力をあわせて強く大きくしていきましょう。

10～11月共同組織拡大強化月間スローガン (活動の重点)

- ①戦争きらい！平和大好き！ 憲法改憲を許さず、「戦争法」「共謀罪法」廃止にむけて共同の取り組みを広げよう！
- ②「いのちを守る署名」安倍9条改憲NO！統一署名で対話を広げ、府民の厳しいくらしや要望を可視化させ、その実現にむけた取り組みをすすめてよう。
- ③すべての健康友の会と事業所が、月間で2017年度目標(会員2万8千人・世帯、元気誌2600部到達)を達成できる健康友の会を築こう。
- ④誰もが安心してくらしらせるまちづくりに取り組み、人権を尊重する地域包括ケアと総合事業をめざし、住民本位の地方自治をすすめてよう。
- ⑤中央病院総合移転を必ず成功させるため、総合基金と協同基金目標を達成しよう。
- ⑥健康な体づくりで、「捨てるうんこで拾ういのち」大腸がん検診(便検査)に取り組もう。

*京都市民医連共同組織拡大強化月間折り返し集会に、すべての友の会から参加しましょう。10月31日(火)14時30分開会、16時30分終了予定 京都市民医連会議室。

10月～11月 健康友の会拡大強化月間です

健康なまちづくりと健康なからだづくりをすすめます

あなたもぜひ友の会にご入会ください

中央病院総合移転を支える「総合基金」にご協力を！

